

沖縄辺野古に 新しい基地は いらない！

(ほんとうは、基地はどこにもいらない！)

「米軍再編」 (基地機能強化) に 反対しよう

私たちは、31の市民団体で構成する 辺野古への基地建設を許さない実行委員会です。

◎沖縄と連帯して米軍再編に反対しよう

名護市・辺野古のおじいおばあから始まった海上基地建設を阻止する闘いは、地元住民と全国の反戦市民を巻き込んで日米政府の計画を頓挫させた。

しかしながら、昨年10月の「米軍再編」の日米合意、本年5月の「ロードマップ」合意、日本政府の閣議により、なんと再び辺野古に新しい基地を造る計画を決定した。住宅に囲まれて危険な普天間基地を、10年以上もこのまま使用しながら、辺野古沿岸部に新基地を造って移転するという。沖縄では激しい怒りの声が巻き起こった。県民の8割以上が反対している。にもかかわらず、防衛庁は県や市町村に圧力をかけ、アメとムチとをちらつかせて、恫喝による合意を取りつけようとしている。

また、座間、相模原、岩国、横須賀、などなど基地強化を押しつけられる地域でも反対の声が上がっている。

◎米国による侵略戦争の手伝いはまっぴら

アメリカは、日本・沖縄の基地を活用して、ベトナム戦争・アフガン戦争・イラク戦争と侵略戦争を繰り返し、多くの人々を殺している。米上院は、旧フセイン政権と「国際テロ組織アルカイダ」の関係を裏付ける証拠はない、イラクには大量破壊兵器は無かったとの報告書を9月8日に公表した。

◎私たちは次の理由で「米軍再編」に反対する

- × 「米軍再編」は沖縄の負担軽減にならない。
- × 米軍と自衛隊が一体化する。
- × 膨大な移転費用(3兆円)を私たちが負担する。
- × 「米軍再編」は九条改憲への道である。